

Profile

NPO法人ココキャン 理事長
弘前大学医学部医学科 4年

さ さ き しん いち ろう 佐々木 慎一郎さん

2020年、弘前大学医学部の学生5人で「学生団体CoCo-Cam」を設立。2021年、「地域と医療の架け橋になる」をコンセプトに、弘前市内に全国でも珍しい地域住民、中高生、医系学生らが交流できるカフェ「医Café SUP?」をオープン。2023年5月、法人化し、医療啓発、医学生教育、地域課題の解決をめざして活動中。

企画を
思いついたら、
すぐ実行するの？

Q3 企画の質にもよりますが、自分で納得したものであれば“ゼロ秒”くらいのノリで実行に移します。例えば、ネットで調査して、その筋のプロにヒアリングして、商品販売をする場合は価格設定もするなど。こういった面倒な作業は、その瞬間にやらないとやらずに終わってしまう。だからこそ、先延ばしせず、覚悟を決めて先に終わらせるというイメージです。

Q4 今後の活動の抱負は？
発足当時はメンバー5人でしたが、今では15人に増えました。目まぐるしく変化する時代のなかで、医療の概念もどんどん変わっています。だからこそ、私たちは常に未来を見据え、地域の人とのコミュニケーションを大切に、さまざまな人と協働しながら「未来の医療のカタチ」を提案していきたいと思っています。

高校生に
メッセージを！

Q5 プラン実現のためには、幅広い世代、職業、異なる価値観を持った人の話にじっくり耳を傾け、地域を巻き込みながら支援者を増やしていくことが大切です。私の場合、仲間の存在と自分が知らないことを教えてくれる先輩、応援してくれる地域の方々に助けられました。未来に向かって、常に挑戦する心を大切にしてください。

Q1 「医Café SUP?」を開こうと思った理由は？

青森県が抱える短命県などの課題解決のために、医学生という立場を生かして地域で何か活動できないだろうかと思ったのがきっかけです。地域の方々がコーヒーを飲みながら、気軽に医療や健康の相談ができる場所。そんなサードプレイスを創り、地域と医療の架け橋になりたいと考え、開業しました。



Q2 これまでの活動内容は？

運営するカフェを利用して、住民に対する医療啓発活動や高校生の進路相談、小中学生の寺子屋などを行っています。また、さまざまなイベント出展を通じて、高校生や医系学生に地域の魅力に触れてもらうことで、将来、青森県の医療を担う医療者の養成もめざしています。さらに活動の幅を広げるために、2023年5月に法人化しました。

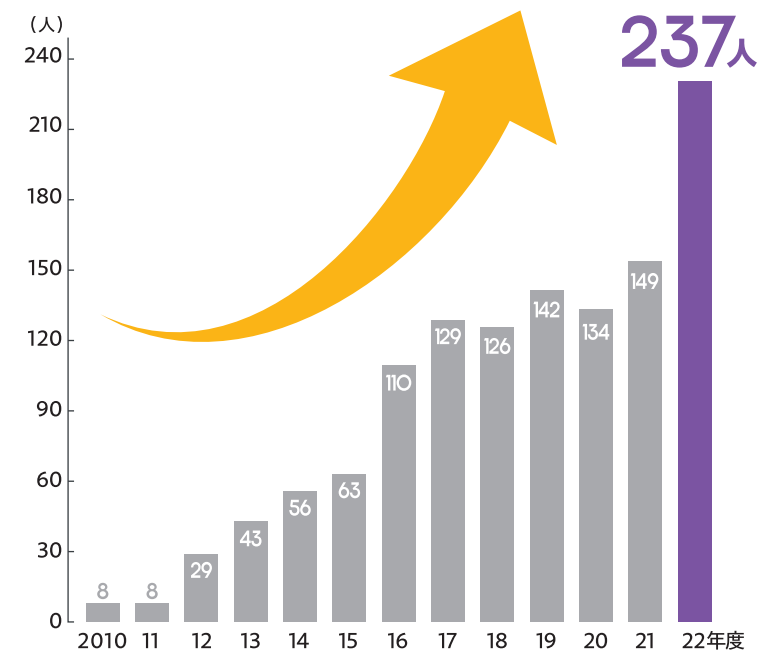


青森県立弘前高等学校 2年

よしだ める
左: 吉田 愛琉さん
いまむら あすか
右: 今村 明日香さん

青森で 夢を叶えるには？ 青森でチャレンジする人が増えている！

青森県内の創業支援拠点を利用した創業者数



出典：青森県商工労働部公表資料

TOPIC

青森県は、創業・起業のサポート制度も充実しています。エステ、カフェ、レストラン、ダンススタジオ、ジュエリーショップ、広告デザインなど、さまざまなジャンルで夢を叶えた先輩がたくさんいます。

TOPIC